



KYGNUS SUNOCO Team LeMans

2013年 全日本選手権 スーパーフォーミュラ

#8 Team KYGNUS SUNOCO

第1戦 レースレポート



開催日	予選：2013年4月13日(土) 決勝：2013年4月14日(日)	ドライバー	アンドレア・カルダレリ
サーキット	鈴鹿サーキット (1周 5.807km)	順位	予選：11位 / 決勝：7位
決勝周回数	51周 (296.157km)	シリーズ ランキング	ロイック・デュバル : --位/--ポイント(今回--) アンドレア・カルダレリ : 7位/2ポイント(今回2) チーム (#7+#8) : 6位/3ポイント(今回1+2)

■ アンドレア・カルダレリ、グッドスタートを決めて7位フィニッシュ

今年からスーパーフォーミュラに名称が変わった2013年開幕戦はロイック・デュバルがWECに参戦のため、イタリアの若武者アンドレア・カルダレリが8号車をドライブする。事前の富士スピードウェイでの公式テストでは総合2位のタイムを出しているだけに、上位進出の期待が懸かった。

予選 (天気：晴れ / コース：ドライ)

気温16度という春の陽気の中、予選は19台でQ1(20分間)、14台でQ2(7分間)8台でQ3(7分間)のノックアウト方式で行われた。アンドレアは午前中に行われた練習走行では9番手とやや出遅れる。

13時50分予選開始。Q1は午前中に1アタックしたタイヤで走り始める。2号車の2コーナー出口でのクラッシュで赤旗、一時中断するも残り13分で再開される。その間セッティングを調整してアタックに挑み、Q1は10番手、Q2では更にセットアップを少し変更して臨んだがセクター1でタイムをロスしてしまい11番手で予選を終える。この予選では7台がコースレコードを更新し、1秒以内に10台が轟く結果となった。

決勝 (天気：晴れ / コース：ドライ)

決勝レースは51周 約300Km近い距離で争われた。14時30分フォーメーションラップ開始、1周のフォーメーションを終え、開幕戦レースのスタート。アンドレアは反応良くスタート、チームメイトの平川もパスしオープニングラップを9位で戻って来る。6ラップ目で15号車の佐藤琢磨にジャンプスタートのペナルティーが出て、アンドレアは8位に浮上。その後は硬直状態で各車がピットインするまで8位を走る。全体としては遅めの27ラップでピットイン。ピットインのタイミングも良く練習通りに素早く給油とタイヤ交換をこなし、暫定13位でコースに復帰し、全車ピットインが終わると8位のポジションで走行。その後も危なげなくラップを重ね、最終ラップで38号車の平手がストップしたこともあり、最終的には7位入賞2ポイントを獲得する。

アンドレア・カルダレリのコメント

予選は自分で思っていたようには行きませんでした。富士スピードウェイでの公式テストでは良かったので残念でした。レースはスタートも決めて順位を上げられたのは良かったです。ラスト10週では前を行く車を捕らえるべくプッシュしようと思ったのですが順位をキープしました。結果的に7位入賞でポイントも得られ、チームに貢献出来て嬉しいです。

土沼監督のコメント

予選の結果はチームも本人も満足ではありませんでしたが、レースはスタートを決めてくれて結果7位入賞、2ポイントを獲得してくれました。チームルマンでの初めてのレースでしたが実力を発揮してくれたと思います。アンドレアの次のレースは最終戦になりますが、ロイックに良いデータを残してくれたと思います。

